

「人工股関節全置換術を対象にした関節可動域と歩容の関係」 についてのお知らせと研究協力をお願い

当院では以下の臨床研究を行っております。

【研究課題】

人工股関節全置換術を対象にした関節可動域と歩容の関係

【研究の概要、背景、目的】

本研究では、人工股関節全置換術を対象に、関節可動域と歩行速度の関係を調査します。人工股関節全置換術後の歩行は、股関節の運動範囲が狭くなっており、歩幅が減少し、歩行速度が低下しています。股関節の運動範囲を狭くする原因には、股関節の伸展可動域が関わっている可能性があります。しかし、股関節の伸展可動域と歩行中の股関節の運動範囲を、詳細に調査した報告はありません。本研究の目的は、股関節の可動域と歩行の関係を長期的に調査し、リハビリテーションに役立てることです。

【研究の期間】

2022 年 6 月 1 日から 2028 年 6 月 1 日

【研究対象】

- ・人工股関節全置換術を受け、当院の外来リハビリテーションに通われている方

【研究の方法】

当院のリハビリテーションでは、人工股関節全置換術の術後 1.5 ヶ月、3 ヶ月、6 ヶ月に運動機能の測定を行っております。本研究では、その測定結果を 2 次利用し、研究を行います。

【利用する情報】

- ・基本情報（年齢、性別、身長、体重）
- ・医学的情報（診断名、既往歴、手術記録、治療経過）
- ・股関節の関節可動域
- ・股関節と膝関節の筋力
- ・歩行時の痛み
- ・歩行速度、歩幅、歩行率、歩行中の関節運動範囲

【予想される利益、不利益】

利益として、歩行に影響を及ぼす関節可動域制限を特定することで、柔軟性改善運動の治療組織の選択に活用することができます。本研究は測定結果を 2 次利用するものであるため、新たに生じる不利益はありません。本研究の結果は、学会発表や論文投稿に利用するため、個人情報の管理には十分に注意いたします。

【個人情報の取り扱いについて】

本研究の成果を、学術目的のために学会や論文で公表する際には、個人情報を厳重に守り、個人が特定されない形で使用します。

【研究協力の自由について】

研究への協力は自由意志であり、拒否をされた場合でも不利益はありません。協力を希望されない場合は、お手数をおかけしてしまい大変申し訳ありませんが、ご連絡をお願いいたします。

【利益相反について】

本研究に開示すべき利益相反はありません。

【研究責任者連絡先】

総合病院土浦協同病院

リハビリテーション部 蛸原文吾

電話 029-830-3711（代表）